

ユズがいっぱいとれたで～！

氏原農園に集まった皆さん

梶原町下西の川の氏原和美（うじはら かずみ）さん（80）のユズ園では、収穫祭がプライベートで行われていました。この収穫祭は数年前から町内外の知り合いの方々が集って収穫を楽しんでいたことがキッカケで毎年恒例の行事となりました。普段の仕事からかけ離れた世界で新鮮な空気を味わいながら行う作業は「癒しの時間」であり、いいリフレッシュにもなっています。また来年もたくさん実って、皆が集まるといいですね♪

梶原地区より



“こだわりコーヒー” 飲むならココ！

「風流茶房 淳」

（左から）川上 理恵さん（67）
川上 章雄さん（75）

「風流茶房 淳」は第37番札所「岩本寺」の近くにあり、“昭和レトロ”をまさに体現したようなお店です。現在は2代目の川上章雄さんと、妻の理恵さんのお二人で経営されています。

1回目の東京オリンピックが開催された昭和39年に、先代の父・淳二郎さんが開いたこのお店。まだコーヒーを飲む習慣が根付いていない時代から先駆けて、こだわりのコーヒーを提供してきました。

「コーヒーを愛し、コーヒーに生きる」が信条だった淳二郎さん。息子の章雄さんも、常に「えいコーヒー」をつくるため、仕入れたコーヒー豆の中から虫食いや欠点豆を一粒一粒手作業で毎日取り除くなど、情熱を注ぎ続けています。

自家焙煎されるそのコーヒーは、噂を聞きつけて遠くから来店するお客だけでなく、コーヒー豆を購入し続ける長年のファンも、東京など県外にたくさんいるのだとか。

これからもみんなが虜になる「えいコーヒー」をつくり続けてください！

四万十地区より



高西
地区

から こんにちわ 今月の気になる人

東津野地区より



ミョウガ栽培頑張ります

さいとう こうすけ
齋藤 浩介さん（46）

津野町桑ヶ市で新規就農した齋藤さん。地域で空いていた遊休ハウスをコツコツと整備しこの冬からミョウガ栽培にチャレンジします。1年間、地元の先輩農家のもとで修行を行い栽培技術を身に着けました。「はじめはわからないことばかりだと思うけど、先輩農家に早く追いつけるよう頑張りたい」と意気込みを聞かせてくれました。

家族で頑張っています！

ばんの うち たつのり
（左から）伴ノ内 立德さん（24）
ばんの うち ゆうや
伴ノ内 裕哉さん（21）

お二人は興津で主にミョウガを栽培しており家族で毎日頑張っています。二人とも中学校を卒業してすぐに農家の道を志しました。朝は5時頃から始まり、収穫量が多いときなどには夜の8時頃まで作業をしています。毎日の作業は大変なものではないかと思いましたが、二人とも趣味の釣りと素潜りを楽しんでおり、仕事も趣味も充実している様子でした。二人に将来のことを聞くと、立德さんは「ミョウガを栽培している人が減ってきていることや土地が荒れてきていることが心配です。できるだけ自分たちが頑張って作っていきたい。」裕哉さんは「もっと品質の良いものを栽培していくことができるように研究していきたいです。」と話されていました。

まだまだ若いお二人ですが、健康を第一に今後もより良いミョウガを栽培してってください！

興津地区より



5 四万十地域

高知県指導農業士に認定



表彰状を受け取る吉村さん（右）

高知県では農業の発展と地域の活性化を図るために、農業経営、栽培技術に優れ、農業者の育成に意欲的に取り組んでいる農業者を指導農業士として県が認定を行っています。令和3年度は、四万十町小向で施設キュウリ23アールを経営する吉村恒平さんが認定され、今年度で四万十町の認定者数は12人となりました。吉村さんは「今よりも収穫量を増やしていきたい、四万十町のキュウリ部会を引っ張っていきたい」と意気込みを話してくれました。今後は指導農業士として、更なる活躍を期待しております。

6 四万十地域

釜祭りを開催



釜祭りの様子

四万十町興津地区で11月9日、令和4年度釜祭りが行われ、J A生産部会、行政、関係機関、資材メーカー、農協役員ら24人が出席しました。祭りは施設園芸の加温が始まるこの時期に毎年開催されています。今年もコロナ禍の影響を考慮し規模縮小した中での開催でしたが、四万十町の中尾博憲町長をはじめ関係者が玉串を捧げ安全祈願・豊穡を祈願しました。同地区の竹吉功常務は「台風14号により、浸水被害を受け、今年の作付面積は減少するが、早期復旧と本年度の豊作を祈願させていただいた」と話しました。

3 四万十地域

高知県園芸品販売拡大推進大会



濱崎さんに感謝状が贈呈されました

11月2日、高知市で令和4年度高知県園芸品販売拡大推進大会を開催。令和4年度園芸品の販売目標を61.9億円と定め、県全体で取り組むことになりました。また、四万十町興津地区の濱崎千尋さんが、ミョウガ生産を通して、多年にわたり系統販売強化と園芸振興にご尽力いただいた功績をたたえられ感謝状が贈呈されました。濱崎さんからは「これからも生産組織活動を通じた、生産活動に励み、系統販売強化に努めていきたい」との話がありました。

4 津野山地域

橋原学園サツマイモ収穫



大物を掘り上げました！

11月5日、橋原学園1・2年生は春に植え付けを行ったサツマイモの収穫を行いました。植えていたサツマイモは「土佐紅」という品種で色鮮やかな肌が美しいサツマイモでした。児童らはツルの除去からはじめ班ごとに協力しながら手作業で芋を掘り上げていきました。今年の収穫個数は多くないものの、カボチャのような形をした大きなサツマイモが現れ、児童や先生方もびっくりしている様子でした。収穫したサツマイモは翌月まで寝かせた後、スイートポテトづくり授業で使用する予定となっています。

Monthly Topics

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



学生が収穫作業をしています

1 四万十地域

大学生がショウガ収穫のアルバイト

J A高知県は学生団体「Destiny」と連携し、同J Aが運営する農業求人サイト「あぐりマッチこうち」を活用して、農業アルバイトをしたい大学生と人手の欲しい生産者の結び付けを行っています。車を持たない大学生が参加できるよう今月初めて11月の5日間のみ四万十町のショウガ収穫に高知市内から無料送迎バスの運行を開始し、21人の学生が参加しました。学生達はショウガの掘り取り作業や茎切り作業、コンテナ詰め作業を行いました。学生からは「いつもは飲食店等でアルバイトをしています、なかなかできない体験ができ、自然と触れ合っことで癒されます。こういうアルバイトがあればまたやりたい」などの声が聞かれました。新型コロナウイルスの感染拡大により、経済的に影響を受けたと答える高知大生は42.3%と高く、一方の農業現場では、慢性的な繁忙期の労働力不足は大きな課題となっており、今後も学生団体と連携し「あぐりマッチこうち」を活用した助け合いの仕組みを構築していきます。



狙いを定めて鋏を入れます！

2 津野山地域

中央小6年生ユズ採り体験

11月25日、津野町立中央小学校6年生ら12人はユズ農家を訪問し、収穫体験を行いました。受入れ農家である同町宮谷地区の村田耕一さんから収穫前のほ場をお借りして管内のユズ生産やユズの樹の栽培管理等の説明を行った後、高枝鋏等を利用して実を傷つけないよう1つ1つ丁寧に収穫を行いました。簡単そうに見える収穫作業ですが、ユズにはとても長いトゲがあるため慣れた農家でも深い革手袋を装着して収穫を行います。

また、急な傾斜地をユズ園にしている場合も多く、地域では高齢農家が栽培管理や収穫作業ができなくなってきたという現状もあります。児童らもケガに注意しながら慎重に作業を行い、高枝鋏の操作に苦戦しながら収穫に挑みました。収穫されたユズからは爽やかな香りが漂い、ユズ風呂やジュースなど様々な方法で旬のユズを楽しむそうです。

四万十地域より

生姜の土壌消毒について

《生姜栽培における土壌消毒の必要性》

生姜栽培においては、土壌病害や雑草対策の為に土壌消毒の実施が必要不可欠であり、土壌消毒剤を効果的に使用することが重要です。

今回は、バスアミド微粒剤について紹介します。

【土壌消毒剤：バスアミド微粒剤の特徴】

- ①刺激臭が少なく使いやすい ②粒剤なので散布が簡単
③広範囲の土壌病害・線虫類に効果があり、雑草処理にも有効

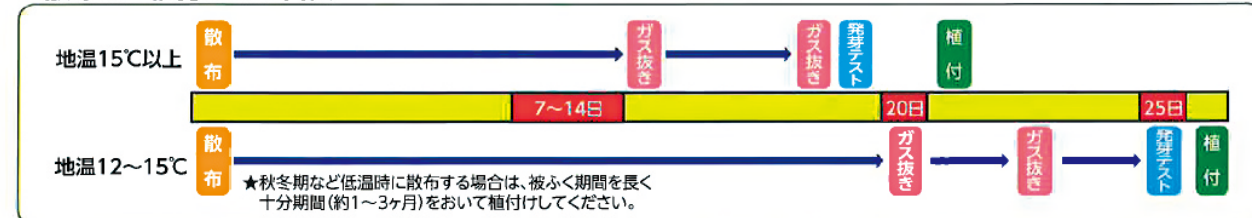
注意点

- 土壌の水分に反応して効果を発揮するため、処理時には土を握って塊が崩れない程度の水分状態がベスト
●ガス抜きには、10～14日と比較的長い期間が必要
※薬害回避の為に、被覆資材除去後に一定の降雨にあてることも有効

バスアミド微粒剤

作物別	対象	成分名	使用量	使用時期	使用回数	使用方法
しょうが	・根茎腐敗病 ・一年生雑草	ダゾメット	30～60kg/10a ※1年生雑草が対象の場合は20～30kg/10a	定植 21日前まで	1回	所定量を均一に散布して土壌と混和する

■散布から植付までの目安



■散布から植付までの作業手順

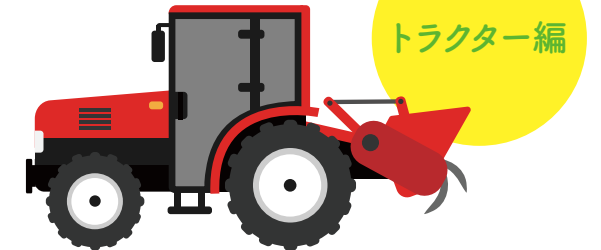
1 土壌水分の調整と整地 ●植物の残さ等を取り除いてください。 ●砂土はいいねいしてください。 ●土壌が乾いている場合、予め散水して土壌水分を整えてください。	2 適切な土壌水分量 ●水分がないと分解しません。土を握って形が崩れない程度の土壌水分。	3 均一散布 ●バスサンパー等の散布器具で均一に散布してください。 ※吸収係付防護マスク・ゴム手袋・長ズボン・長袖の作業衣・ゴム長靴等を着用してください。	4 ロータリーで混和 ●土壌混和は15～25cmの深さまで十分に混和してください。	5 散水 ●水分が不足すると分解が遅れて効果不足や薬害の原因にもなるため必要に応じて散水してください。										
6 表土を被ふく ●ただちにビニール等で被ふくしてください。	地温による被ふく期間の目安 <table border="1"> <tr> <th>地温</th> <th>被ふくの日数</th> </tr> <tr> <td>25℃以上</td> <td>7日～10日</td> </tr> <tr> <td>20℃</td> <td>10日～14日</td> </tr> <tr> <td>15℃</td> <td>14日～20日</td> </tr> <tr> <td>10℃～15℃</td> <td>20日～30日以上</td> </tr> </table>	地温	被ふくの日数	25℃以上	7日～10日	20℃	10日～14日	15℃	14日～20日	10℃～15℃	20日～30日以上	7 ガス抜き(最低2回) ●散布後ビニール除去後に第1回のガス抜きを行い、その2～3日後に再度行って、完全にガス抜きをしてください。	8 発芽テスト ●ガスが完全に抜けたかどうか、レタス、だいこん、カラシナ等のタネを用い発芽テストをしてください。	9 施肥・植付け ●必ず無病の苗を用いてください。 ●堆肥は完熟堆肥を使用してください。
地温	被ふくの日数													
25℃以上	7日～10日													
20℃	10日～14日													
15℃	14日～20日													
10℃～15℃	20日～30日以上													

お問い合わせ先 四万十営農経済センター購買課
TEL.0880-22-5178 FAX.0880-22-5177

えいのう～

役立つ! 得する! 情報

津野山地域より

農作業機械
使用の注意点

平成29年の統計によると、国内において農業機械作業に係る事故は211件発生し、そのうち乗用型トラクターによる事故は92件で、56人が命を落としています。(農林水産省調べ)

乗用型トラクターを走行中、圃場や道路から転落する事故が多くを占めており、慣れた作業であっても事故防止のための注意が必要です。

●道路走行時の左右ブレーキ連結

乗用トラクターのブレーキは、左右が分かれているため小回りが効き便利です。しかし、圃場からの出入りや、道路走行時に連結操作を忘れ、転落・転倒する事故が多く発生しています。

そこで作業中の以下のような場面では忘れずにブレーキ連結を確認しましょう。

- ①圃場へ出入りする ②移動走行する
③傾斜地で作業を行う ④畦を乗り越える



●シートベルトを着用しましょう

安全・キャブフレームのあるトラクターでもシートベルトを着用しなければ、転倒した際に身体が固定されないため、身を守ることができません。

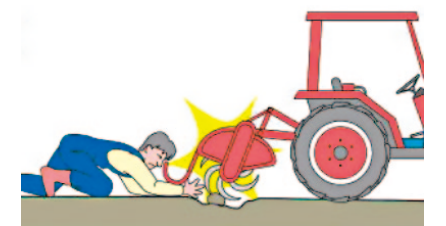


●作業機の下は危険

トラクター作業中にロータリーなどの作業機から異音があると、慌てて機械の中や下をのぞき込みたくなります。

これは非常に危険ですので、必ず安全な状態にして、点検整備を行いましょう。作業機を点検する際は必ず以下の対策を実施してから行ってください。

- ①作業機を上げます ②昇降部の油圧ロックを掛けます
③駐車ブレーキを掛けます ④エンジンをOFFにします
⑤ブロック等を作業機の下に入れて、支えにします



◎お問い合わせ先
津野山営農経済センター経済課 (TEL.0889-62-2335)

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

俳句

霧の里句会

炭火入れ六人家族の感想ふ
日向ぼこしつつ姉妹のごとくあり

武政 礼子

卒寿とて子に連れらるる店の秋
山蔭に白きもの飛ぶ秋彼岸

市川 和美

里芋や親芋子芋孫芋と
色あせし花ほととぎすいざ翔ばむ

今橋 孝子

峡の道山茶花の花咲きほこり
犬散歩銀杏の落葉けちらして

田中 信子

月眺む母娘で何を語らんや
齒科医出で池を望めば鷺二羽

竹内 春猪

雪舟の名画観賞秋深し
墓守の行く末案じ彼岸花

西宮 正衛

遅咲きの小さきコスモスかがみ撮る
間を空けて小春日和のベンチかな

長谷部 延子

短歌

窪川短歌教室

昨夜よりの大雨に耐へ咲きいたり軒の下なる夕顔四つ

島岡 紀美

海近き温泉に入り仰ぎ見る日陰、日向に飛ぶアキアカネ

文野 見枝子

時折りに首をキョトンとかしげつつ愛犬は聞く我的説教

中内 佐登美

幾度も窓行き来する白鷹はもしや働くシングルマザー

黒岩 やよえ

Yの字の逆さ蛙とSの字の守宮ならべり 夜の来訪者

市川 隆子

サファイヤやエメラルドやらルビーやら目の手術中見えては消えて

市川 浩子

早生米のとり入れ季の長雨に夫は次第に無口になりぬ

北村 さちこ

【各支所連絡先】

四万十支所

0880-22-0003

梶原支所

0889-65-0111

興津支所

0880-25-0002

東津野支所

0889-62-2211

大野見支所

0889-57-2321

葬祭会館 ルミエール四万十

0880-22-5900

(株)JAメモリアルこうち 津野山出張所

0889-40-1955

事故受付など 高西サービスセンター

0889-40-4141

俳句

どのページもあたたかさであふれています。皆さんの明るい笑顔はいです〜！

おたよりから

今年は秋が遅かったのか、11月入ってから金木犀がいい匂いです。

(津野町・65歳・女性)

吊るし柿食べる頃知るは猿知恵か

(梶原町・松山 松美)

夕日さす茶の花残し刈り込みぬ

(津野町・村田 美喜子)

正月に孫の顔見る目が恵比寿

(津野町・弘瀬 秀頼)